

平成28年度 第46回関東中学バスケットボール大会
派遣報告書

東京都実業団連盟 本間さとみ

会場	船橋市総合体育館 (船橋アリーナ)	派遣期間	平成28年8月9日(火)～8月11日(木)
大会名	第46回関東中学バスケットボール大会		
参加チーム	【男子】 茨城県: つくば市立洞峰学園谷田部東中学校・神栖市立神栖第三中学校/栃木県: 宇都宮市立鬼怒中学校・宇都宮市立清原中学校 群馬県: 太田市立西中学校・高崎市立群馬南中学校/埼玉県: 新座市立第三中学校・川口市立神根中学校 東京都: 実践学園中学校・江戸川区立小岩第四中学校・中央区立佃中学校・世田谷区立梅丘中学校 神奈川県: 横浜市立豊田中学校・横須賀市立坂本中学校/山梨県: 河口湖南中学校・山梨市立山梨南中学校 千葉県: 柏市立松葉中学校・市原市立ちはら台南中学校・八千代市立大和田中学校・館山市立第三中学校		
	【女子】 茨城県: 土浦市立土浦第四中学校・稲敷市立桜川中学校/栃木県: 宇都宮市立陽南中学校・小山市立間々田中学校 群馬県: 桐生市立中央中学校・大泉町立西中学校/埼玉県: 埼玉栄中学校・春日部市立豊野中学校 東京都: 八王子市立第一中学校・東京成徳大学中学校・実践学園中学校・世田谷区立梅丘中学校 神奈川県: 横浜市立鶴ヶ峰中学校・横浜市立戸塚中学校/山梨県: 大月市立猿橋中学校・甲斐市立敷島中学校 千葉県: 昭和学院中学校・船橋市立海神中学校・八街市立八街中学校・市川市立妙典中学校		

スケジュール			
8月9日(火)	10:00～	集合・審判受付	船橋市総合体育館: 体育館入口
	10:30～	審判会議	船橋市総合体育館: 選手控室I
	11:00～	審判ミーティング	船橋市総合体育館: 選手控室I
	14:30～	第1試合開始	船橋市総合体育館
	17:30	第2試合終了	船橋市総合体育館
8月10日(水)	9:30～	第1試合開始	船橋市総合体育館
	17:30	第6試合終了	船橋市総合体育館
8月11日(木)	9:30～	女子準決勝開始	船橋市総合体育館
	16:10	男子決勝終了	船橋市総合体育館
	16:30	終会	船橋市総合体育館: 選手控室I

審判ミーティング 指名審判員 蒲 健一 氏(東京)
●マンツーマンディフェンス推進 審判の対応
ゲーム中、マンツーマンディフェンスをしているかどうかの判断は全てコミッショナーが行う。 但し、スローイン時、背中を向けてるプレイヤーに関しては対面するよう審判員が声をかける。 黄色旗に対しては、判定に集中しながらも、どちらかの審判員が黄色旗に対して認識が出来るよう意識し、コミュニケーションをとる。 赤旗に対しては、主審は最初にゲームクロックが止まった時、コミッショナーを招き入れる合図をする。 その後、両チームのコーチをTO席前に集めコミッショナーの説明を待つ。説明の後、当該コーチに警告をする。 副審はプレイヤーの管理を行う。(ベンチの指示を受けたり、水分補給等は認められない)

2回目の赤旗に対しては、主審は最初にゲームクロックが止まった時、1回目と同様な流れのあと、当該チームのコーチにテクニカル・ファウルを宣する。コーチは選手に対し説明を行うがコミッショナーの伝達以外の指示はできないので、説明が長くないよう意識してTO席付近にいる。 副審はプレイヤーの管理をし、罰則の処置のための準備をする。 ピリオドの終了間際やゲームの終了間際に起こった「明らかなゾーンディフェンス」 試合終了間際(第4ピリオド・延長時限)残り2分を切ったからの警告は1回目でテクニカル・ファウル(赤旗)となる。4Q終了の合図のあと、フリースロー1本が行われる場合もある。
--

担当試合		
日時・会場	対戦	相手審判
8月9日(火)14:30～ 船橋市総合体育館 第1試合	女子1回線 稲敷桜川(茨城)ー市川妙典(千葉)	主審:小柳 幸子 氏(埼玉) 副審:本間 さとみ
ミーティング内容		
審判主任:蒲 健一 氏(指名)		

1試合を通して2人の審判で判定できており、比較的クリーンなゲームでよかった。ファウルが少ないゲームの中、2Qにプレイの質が変わった時に対応し判定ができていた。トレイルオフィシャルの動きに関しては、ドライブからのシャンプシュートのプレイに対してのスペースの捉え方には工夫が必要な場面があった。工夫することによって、説得力のある判定にも繋がるので意識して取り組んでほしい。

担当試合		
日時・会場	対戦	相手審判
8月10日(水)14:50～ 船橋市総合体育館 第5試合	女子準々決勝 豊野(埼玉)ー鶴ヶ峯(神奈川)	主審:武藤 陽子 氏(指名) 副審:本間 さとみ
ミーティング内容		
<p>審判主任:川満 有紀 氏(茨城) 落ち着いたゲーム内容だった。 その中でも2人の協力の部分でエリア6付近に落ちるリバウンドやルーズボールに対してトレイルオフィシャルとしての積極性が必要だった。 センタープレイヤーの手の使いに関しては、前後のプレイを見極め判定しても良い場面があった。</p>		

総括
<p>今回、初めての関東派遣の機会を頂きました。他連盟での他県への派遣でもありましたし、今大会で引退か全国大会へ進出かという大会を、これまでとは違う緊張感の中、今出来る事をいつも通り行う難しさを改めて感じる大会となりました。 また、3日間の大会を通じて判定力だけではなく、自身の意識をもっと高めていかなければと認識いたしました。他県の方々との交流も踏まえ貴重な経験を次のステップへつなげていきたいと思えます。 最後に、開催県の三好啓太審判長をはじめ千葉県の審判員の皆様に感謝申し上げます。 また、ご指導頂きました関東協会の渡邊整審判長はじめ、関東の審判員の皆様、派遣して頂いた久保委員長をはじめ東京都審判員の皆様に、この場を借りまして重ねて御礼申し上げます。</p>